

第2回 景観まちづくりに関する市民ワークショップ

地区の特徴を活かす景観まちづくりの取組みについて考える



令和4年10月2日(日) 14:00~16:30 氷見市役所1階 市民協働スペース
氷見市 建設部 都市計画課

本日のプログラム

1. 開会・挨拶
2. オープニング(10分)
- 前回振り返り・本日の内容と進め方
3. グループワーク(95分)
- アイスブレイク・まちあるき・ワーク
～ 休憩・発表準備 ～
4. 発表・講評(25分)
5. 今後の進め方(10分)
- 実証実験について

(16:30終了予定)

本日のワークショップについて

ワークショップのプログラム

第1回 地区の景観について考える 令和4年9月4日（日）に開催

内容：好きな・自慢したいもの、気になる・改善したいもの、活用したいものについて

本日

第2回 地区の特徴を活かす景観まちづくりを考える

令和4年10月2日（日） 14:00～16:30

内容：まちあるき、景観を「まもる」「いかす」「つくる」「ととのえる」取り組みについて

実証実験

令和4年11月20日（日） 13:00～予定

※ワークショップで意見交換した取り組みアイデアを、実現・検証する実証実験を参加者有志のメンバーで実施することを予定しています。

第3回 目指す姿や過ごし方とその実現を考える

令和5年1月21日（土） 14:00～16:30

内容：景観まちづくりの方向性や実現に向けた取り組みアイデアについて

※テーマや内容は、一部変更になる場合があります。

前回の振り返り



〈斎谷先生ミニ講演より抜粋〉

- ・これからは、物的な環境だけでなく“環境を眺める人”にも着目し、人の営みや活動がつくる“生きた景観”づくりが大事
- ・そのために、多様な主体が自分たちが暮らす地域の景観を保全・創造することに加え、物的環境をみんなで使いこなす“景観マネジメント”が重要。氷見では既に様々な実践がされている。
- ・今後も住民の方々主体で楽しい実践がされることに期待したい。

前回の振り返り



・A～Eの5グループに分かれて意見交換

私が好きな(おすすめしたい)場所やもの

私が気になっている(問題だと思う)
場所やもの

5年後、10年後の景観まちづくりに
向けて活用できそうな場所やもの

前回の振り返り

第1回ワークショップの意見交換結果概要

地区全体に関する意見

シンボルロード地区に関する意見

氷見 IC アクセス地区に関する意見

○好きな・自慢したい景観 △気になる景観

景観を活かした取り組みアイデア

地区全体

- ナショナルルートを利用するサイクリストを呼び込むサインの整備
- 回遊性を高める移動手段の充実（レンタサイクル、ヒミカ、LRT等）
- グルメと漫画文化をコンテンツにしたまちづくり

鞍川地区の田園風景

○まち並み・人の風景・田んぼ・朝日山・広い空が一度に見えて、都会にはない落ち着きがある
○四季を感じる風景が綺麗（広葉樹の青葉が芽吹く春・緑の深い夏・緑のじゅうたんだった田んぼが金色に変化する秋・雪景色・山と裾野に霧が立ち込める冬）
○山間に見る朝霧、晴れた日の日中、夕焼けに照らされる田んぼ
○ドライブしていく疲れる、目の保養になる、気持ちが落ち着く
○氷見 IC から海までサイクリングすると汐風の香りや鳥の声を感じることができ、気持ちが良い
○鞍川地区から朝日山までの散歩ルートがある

氷見 IC 周辺の国道 415 号沿道

- △配植・生育具合などがバラついていて、全体的に統一感が感じられない
- △雑草が多く、管理されていない土地や耕作放棄地、ゴミのポイ捨てが目立つ
- △特に夏はカラスの糞が多い

○風景を引き立てる植栽 農業の活性化・放棄地活用

鞍川地区の集落

○獅子舞やお地蔵さん祭では人との接点や笑顔がみえる
△既に地域に建っている建築意匠とは異なる新築住宅も多くなってきた

旧街道沿い

○山裾の街道沿いに古い家が残っており、道路がくねくね曲がっていて歩くのが面白い
○歴史や昔の人々の営みやレトロ感を感じる

シンボルロードの交差点

- △コンビニの閉店によって寂しくなる
- △たこ焼き屋のある敷地の半分は、以前火災で建物が消失してから空き地の状態が続いているが、勿体ない
- △隅切りの整備が進められたが、その後は整備が進んでおらず、景観的には好ましくない
- △注意喚起する赤白バイブルの車止めも見た目が良くない

上庄川沿い

- 歴史と今の暮らしを感じられる穏やかな風景
- 散歩すると気持ちが良い
- 天候や見る方角によって全く異なる表情が見られる
- 両脇の桜、朝のお日様、夕方の金色の水面がいい感じ
- 子どもの頃、小舟やボートに乗って遊んでいた
- △北の橋から上流側のプレジャーボートは、不法係留になっている。沈船があったりと状況悪化が心配
- 景観を守りながら、地域の人も楽しめる場所

氷見市芸術文化館周辺

- 施設ができ、これから変化に期待
- △付近にカラスの大群があり、糞がひどい
- △機能的に広く市民が使える施設になるのか不安

○芝生や緑があつてゆったり散歩や寝転がれる場所
○文化館から上庄川へ出れる道

商店街・氷見駅

- 店やベンチを中心とした会議が行われる風景がある
- アーケードの統一感がある（一部は撤去されている）
- アーケードは雨の日でも子供と散歩できる。
- 街なかのキャラクターがまちを歩いて楽しむ要素
- △商店街の空き家、シャッターの汚れ
- △各所に鳥の糞害があり、不衛生
- △特に駅周辺の商店街エリアが暗く、人の気配がない
- △建物が全体的に錆などで汚れている
- △漫画のまちづくりに広がりが少ない
- △氷見駅は高校生にとって大事な場所だが、近くに飲食店等がなくて不便。ベンチ等座る場所も少ない

○高校生が寄り道できる場所、座れる場所
○空き店舗活用 シャッターアート

シンボルロード沿道

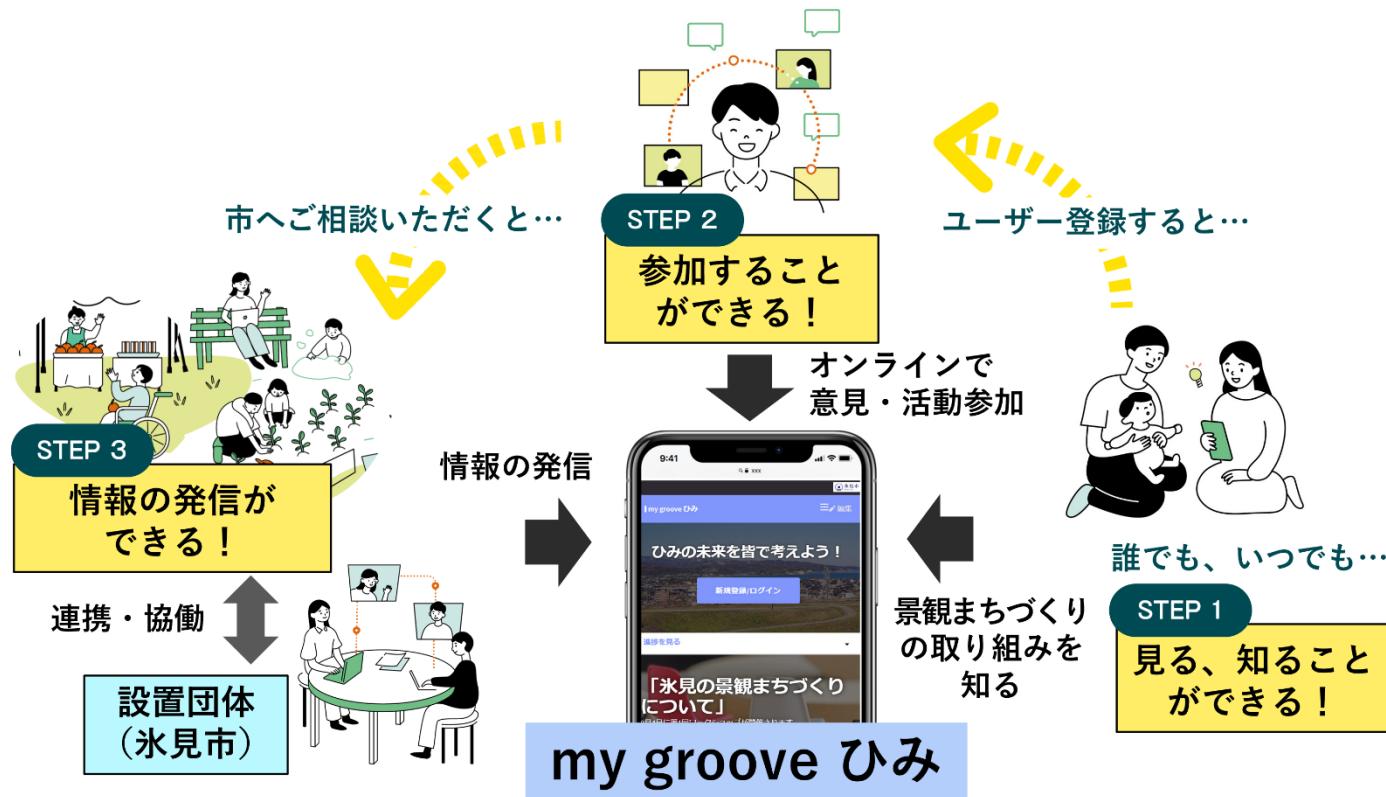
- △歩道が狭い所や切り下げにより急な傾斜があり、高齢者や車椅子だと危険
- △コンビニが閉店し、班の世帯数も減るなど、空き家が増えつつある
- △空き店舗とテナント募集の広告が合わざるとネガティブな印象を受ける
- △歩いていて、無機質でそっけない感じがする
- △氷見 IC からシンボルロードに入ると色彩が少し暗い印象を持つ
- △子供と散歩するとき避ける時がある
- △大きすぎる等、気になる看板や電柱がある。沿道の大型店舗は統一感が欲しい
- △交通量が増えたことで住民が気軽に歩ける環境ではなくなり、人の姿が見えない
- △空き地や歩道の雑草が伸びすぎている

○空き地・空き家活用（共同駐車場／イベント／高校生の居場所／子どもの遊び場／飲食店／憩いの場／ベンチ）

風情や個性のあるグリーン会館／防災建築街区

- 漁業文化交流センター
- アイストップの巨大壁画
- 氷見漁港
- プロゴルファー猪のポケットパーク
- 黒瓦の家とお寺のまち並み
- 上日寺の大イチョウ
- 点在するお菓子屋、パン屋
- 三國屋・松木菓子舗・パティスリーシュンなど
- お菓子やパンのストリート食べられるまちづくり

「my groove ひみ」の運用について



- 景観まちづくりについてのオープンな情報共有や意見交換の場として、オンラインプラットフォーム「my grooveひみ」を運用をしています。
- 検討経過をリアルタイムに近い形で閲覧できるほか、気軽にリアクション（いいね！）できます。興味・関心のある方は、登録することでご意見を投稿できます。

「my groove ひみ」の運用について

「my groove ひみ」

ホーム ワークショップ 景観まちづくりについて ヘルプ

氷見景観まちづくりワークショップ

氷見市の景観について、地域の皆さまのアイデアや意見を出し合う「まちづくり」ワークショップ

1 第1回WS 2022/09/04 - 2022/09/30

2 第2回WS 2022/10/02 - 2022/11/20

3 実証実験 2022/11/20 - 2023/01/20

4 第3回WS 2023/01/21 - 2023/03/31

ワークショップテーマについてこちらの投稿内容を確認してください。

4件の投稿 新しい提案 +


景観まちづくりに関する市民ワークショップ第1回を開催しました！
由田の事務局

皆さまのご意見を募集しています！
事務局の提案
第1回ワークショップに関連して、対象地区とその周辺の「好きな・自慢したい場所やもの」、「気になる・問題だと思う場所やもの」、「5年後、10年後の景観まちづくりに向けて活用したい場所やもの」のご意...

景観まちづくりに関する市民ワークショップ第1回を開催しました！

氷見市景観計画において優先的に検討する重点地区候補として挙げられている2つの地区（氷見アクセス地区、シンボリード地区（以下、対象地区））とその両地区的景観まちづくりを考えるワークショップがはじまりました！

日時：令和4年9月4日（日） 14:00～16:30
場所：氷見市役所 1階 地域活動スペース

本日のプログラム

1. 開会・挨拶
2. オーブニング（30分）
 - ・景観形成重点地区指定に向けた取り組みについて
・斎谷裕介先生、ミニ講演
・本日のワークショップについて
3. グループワーク（70分）
～ 休憩（5分） ～
4. 発表・評議（25分）
5. 今後の進め方（15分）

ワークショップのスタートにあたって、都市計画審議会議員より挨拶がありました。また、都市計画課より「重点地区候補として挙げられた取り組みについて」の説明がありました。



- ワークショップの開催概要や意見まとめなども公開しているほか、ワークショップの参加者以外の方や当日に欠席された方も、こちらからご意見を投稿していただけます。

本日のテーマ

地区の特徴を活かす景観まちづくりの 取組みについて考える

第1回ワークショップ



- ・好きな(おすすめしたい)場所やもの
- ・気になっている(問題だと思う)場所やもの
- ・5年後、10年後の景観まちづくりに向けて活用できそうな場所やもの



第1回ワークショップで出された意見をもとに5つのテーマを設定

第2回ワークショップ



■まちあるき

- ・テーマごとに、地区の景観まちづくりのポイントをフィールドワークで確認、意見交換

■ワーク

- ・現地で確認したポイントの共有
- ・今後の景観まちづくりの取り組みアイデアの検討

イメージ

第1回ワークショップで出された意見をもとに5つのテーマを設定

〈参考イメージ〉



テーマごとにグループを編成

A班

魅力ある周辺（上庄川や旧街道、中央町商店街、海）と415号を結び、いざなう仕掛けづくり（例）花・みどり、サイン、ベンチ、ルート、案内マップ、路面の工夫など）

B班

空き地や空き店舗活用した賑わい、立ち寄れる場所づくり（幸町交差点付近～幸町東交差点付近の空き地や空き店舗など）

C班

大事な結節点とオープンスペースの魅力づくり（芸術文化館青空広場、幸町東交差点付近、プロゴルファー猿ポケットパークなど）

D班

シンボルロードにふさわしい沿道づくり（花・みどり、サイン、ストリートファニチャー、まち並みなど）

E班

開放的でほっとする眺めと眺める場所の魅力を高める（田園や集落、里山、まちから田園への眺め、朝日山への眺めなど）

本日のテーマと今後の展開

第2回ワークショップ(本日)



- ・景観まちづくりのポイントとなる場所と取り組みアイデアの検討

実証実験(11月20日)

- ・すぐに実現できる小さなことから実際に場づくりをしてみる
- ・公共や民間の場を活用して、新しくまちを楽しめる場を創出することの効果や課題の検証
- ・有志メンバーを主体に企画・実践

第3回ワークショップ(令和5年1月21日)

- ・取り組みアイデアの検討を深める
- ・住民の方や市が協働して実現してくための検討(体制や行政としてのサポートなど)

〈景観計画に掲げる景観まちづくりのキーワード〉

まもる つくる いかす
ととのえる



駐車場を活用したマルシェ
(黒石市：くろいし屋台はらっぱ)



公園内の子どもの遊び場づくり
(八王子市：鹿島・松が谷地域
社会実験、かしまつRe:Live)

グループワークのプログラム

- まちあるきルート・ポイントの確認 10分程度
- 【まちあるき】 50分程度
テーマに沿って、対象地区とその周辺の景観まちづくりのポイントとなる場所を確認
※まちあるきシートに気づいたことを記入してください。シートは意見の整理のために最後に回収させていただきます。持ち帰りたい方はスタッフにご相談ください。
- 【ワーク】 30分程度
まちあるきでの気づきも踏まえ、景観まちづくりの取り組みアイデアについての意見交換
※まちあるきの内容を踏まえて、メンバー全員で意見交換。
取り組みアイデアについては第3回目のワークショップも合わせて深めていきます。

グループワークのプログラム

まもる

今後も大切にまもり、次世代に継承していきたいものは？

いかす

もったいない、活用したい、磨いていきたいものは？

つくる

新しく生み出したいものは？（建物、花や緑、ストリートファニチャー、場や人の活動）

ととのえる

阻害になっているものや、改善したいものは？

グループワークの進め方



- 各グループには、進行役、進行補助役のスタッフや市職員が入り、進行や意見整理を行います。
- ワーク終了後、意見交換の全体概要は各グループの進行役から発表します。実証実験に向けた推しポイントやアイデアについて、グループのメンバーから発表者を決めてください。